

校長室から (NO. 36)

臨時休業終了

6月1日より、通常どおり学校が再開され、ありがたいことに、子供たちは元気に登校してきています。

しかし、新たな生活様式に注意を払いながら、これまで経験したことのない難事に立ち向かう日々は、まだまだ続きます。そんな中であっても、子供たちには常に前向きに、純粋な目でいろいろな物を見たり聞いたりして、日々成長してほしいと願います。

さて、分散登校初日の下校時のことです。

児童玄関を出た時に、目に飛び込んできた本校のシンボルツリー「けやきの木」を見て一言。「大きくなったなあー！」と、ある子が言いました。

そうです。1か月半前には、葉も茂っておらず、作りかけのカラスの巣もスカスカに見えていました。背丈が大きくなったわけではありませんが、うっそうと葉が茂り、一回りも二回りも大きく感じられます。もしかしたら、これを毎日目にしていれば、意外と気が付かない変化かもしれません。子供の素晴らしい感性です。

そして、もう一つ思ったのは、学校が休みだった時間の長さです。子供の言葉には、学校を懐かしむ感じすらしました。その子はどんな思いだったのでしょうか。

こんな事態であっても、子供の言葉に癒やされるものです。

